

2018年度第5回環境科学部フィールドスクール（10/27）

「温泉エネルギー活用の取り組み」が行われました。

10月27日（土）の第5回環境科学部フィールドスクールは、「温泉エネルギー活用の取り組み」をテーマに、雲仙市小浜温泉地域で実施しました。午前中、雲仙 E キャンレッジ交流センターにおいて、「島原半島における着地型ジオツーリズム開発講座の趣旨説明（馬越教員）」、「小浜温泉の特徴と温泉エネルギー活用の取り組み（一般社団法人小浜温泉エネルギー・佐々木裕事務局長）」についての講義を行い、午後からは、佐々木事務局長の案内のもと、小学生向けに開発された「こどもジオツアー」のコースに沿って、上の川湧水、炭酸泉（刈水鉱泉）、小浜歴史資料館、足湯、蒸し窯を見学しました。また見学後は、雲仙 E キャンレッジ交流センターにおいて、見学で気づいたことや改善したほうがよいと思われる点などについて討議を行いました。このフィールド学習では、温泉に代表される小浜温泉の地域資源がどのように保全されまた活用されているのか、またそれを知るためのジオサイトの現状について、詳しく学ぶことができました。



上の川湧水



小浜歴史資料館の源泉



蒸し窯



雲仙 E キャンレッジ交流センター
での討議の様子